

原川中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月7日(木)

三重野 蒼汰さん
【社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院】



演題 理学療法士の仕事とは

外来患者などの理学療法士をしている三重野さん。母校での講演です。理学療法士とは自立した日常生活が送れるように支援する医学的リハビリテーションの専門職で、どのような仕事をしているのか説明をしました。クラス全員でストレッチをしたり、杖を使った歩行や足の筋力を計る検査を体験し、クラス全体が盛り上がりました。また、歩行器の使い方を実演しながら説明しました。仕事のやりがいは「患者さんが理想の生活を実現できたときです」と話しました。元気のいい生徒たちだったそうです。

岩田 健太さん
【一般社団法人 若葉会】



演題 中学生に伝えたいこと

児童指導員の岩田さん。自己紹介のなかで自分の学生時代の経験から「大学などの進路選択が将来の仕事などに大きく影響してくること」を話しました。仕事内容では、放課後等デイサービス、学童、フリースクール等の説明をしました。仕事をして年齢に関わらず人と話せるようになったことや、子供と関わる時は声のトーンに気をつけていると話しました。また、「ひらめきマップ」では「パン」から関連する言葉を連想して生徒に言ってもらい、ひとつの単語からのひらめきで頭を柔らかくする体験をしました。生徒の皆さんに「大人になって思うことは、国語をちゃんと勉強しておけばよかったこと、字をきれいに書く習慣をつけること、趣味や好きなことを探すことです」と伝えました。

後藤 悠介さん
【大分バス株】



演題 バスの運転士になるためには

営業所で総務をしている後藤さん。普段は運転士のサポートや事務の仕事をしていますが、「バスの運転士になるためにはどうしたらよいか、どういった免許が必要か」や「大分県内でバスの保有台数や行き先が1位であること」、「運転士の1日の流れ」、「新車で入ってくるバスはオートマチック車となっていること」などを説明しました。また、運転士やバスガイドの帽子を生徒に回覧すると、ほとんどの生徒が被り、盛り上がりました。自身の学生時代の挫折の経験を話し、生徒の皆さんに「諦めなければ結果は必ずついてくる。諦めたら終わり。今から出来ることをコツコツとやりましょう」と伝えました。講演後のお見送りの生徒が帽子を被って控室まで案内をしました。

原川中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月7日(木)

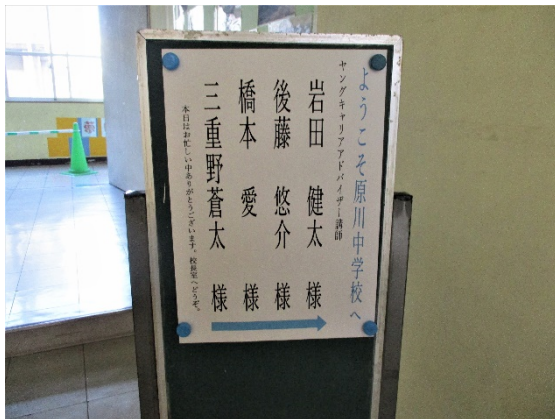
橋本 愛さん
【医療法人社団 親和会 えとう内科病院】



演題 **看護師という仕事について**

入院患者の看護師をしている橋本さん。学生時代になりたかった職業や転職、看護師の業務の説明をしながら、頑張っていること、仕事の自慢などを話しました。生徒たちは聴診器を実際に耳にあて、自分やクラスメイトの肺や心臓の音を聞く体験をしました。

生徒の皆さんに「興味を持ったことを大事にすること」、「わからないことは質問し、解決すること」、「困ったときは周りの人に助けを求め、ひとりで抱え込まないこと」、「なりたい職業の選択肢が多くても焦らず考えてみる。その職業の話を積極的に聞いてみるのもひとつの手段です」と伝えました。にぎやかなクラスでたくさん質問が出たそうです。



1年生4クラス。明るい生徒たちで質問もたくさん出ました。最後はアドバイザー全員で集合写真を撮りました。